

球磨川の氾濫危険度を知らせる仕組みが増えました

～ライティング防災アラートシステム～

ライティング防災アラートシステムとは、水の手橋の手すりなどに変色可能なLED（発光ダイオード）照明を設置し、球磨川の氾濫危険度を照明色の変化で視覚的にお知らせし、早めの避難行動を促すものです。人吉市復興計画（第1期）の取り組みの一つとして令和4年4月中旬から本格運用しています。

緊急時に川や橋を直接見に行くことは避け、「防災ポータルサイト」や河川カメラなどで確認し、適切な避難行動をとってください。



通常時は、防犯対策や観光資源として活用し、それらにふさわしい落ち着いた電球色で運用しています。令和4年のサッカーワールドカップでは、侍ブルーとして青色に変色しました。

令和5年には、日本デザイン振興会からグッドデザイン賞をいただきました。